

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyoku@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 2018年 4月24日

私たちが、禁止条約に参加する政府をつくろう



ヒバクシャ国際署名ステップアップ集会に130人、宣伝行動で121人の署名

55万人を超える署名が寄せられている「ヒバクシャ国際署名を進める北海道民の会」は目標の道民過半数めざすためステップアップ集会と署名行動を、4月21日札幌市内で行いました。集会は14人の道内の被爆者と2世はじめ、会場いっぱいの約130人が参加しました。「道民の会」呼びかけ人代表の眞田保・北海道被爆者協会会長が開会挨拶しました。

藤森俊希日本被団協事務局次長は、出席した核兵器禁止条約採択の国連会議やノーベル平和賞授賞式にふれ「エレン・ホワイイト国連会議議長、中満泉国連軍縮問題担当上級代表、被爆者セツコ・サーローさん、ノーベル委員会委員長はじめ、いま女性が平和の地球を作ろうと世界で奮闘している」と講演の中で語りました。『核兵器禁止条約を出発点に～憲法9条を輝かせ核兵器のない世界へ』をテーマに講演した藤森さんは、「被爆者がよびかけた署名は、訴える力、共同を進める力がある。核兵器のない世界の実現を」と訴えました。

(写真上/集会後の署名行動で横断幕を持つ被爆者の方々。左から3人目マイクを持つ人が藤森さん)

組合員の関心が高くオールコープで短期間に32万人以上の署名を集めたコープさっぽろ、平和運動フォーラムから署名の取り組みが報告されました。●高際洋子新婦人手稲支部平和部長は、手稲の冬まつり“雪っていいね”での署名行動や5月の平和行進・手稲コースの準備はじめ、地域での草の根の取り組みを報告しました。●桜谷和博・帯広原水協事務局長が、平和首長会議の決議を力に行政にも働きかけ、市の平和展、コミセンなどで署名を置くことや、“氷まつり”本部付近で帯広市が推進する署名に協力をと呼びかけ反応が良かったことなどを紹介しました。

被爆2世の松田ひとえさん(旭川在住)が、核保有国フランスのシャンソン♪広島を披露しました。

(左写真)



集会終了後、大通り公園西3丁目に移動して、署名行動。23度と初夏の陽気で人通りも多く、121人が署名のよびかけに応えてくれました(募金500円)

